

令和4年度第3回「金沢の未来を語る まちづくりミーティング」議事要旨

- ・日時：令和4年9月3日（土）14時00分～
- ・場所：元町福祉健康センター もとまちホール
- ・対象：馬場、浅野町、森山、小坂、千坂、夕日寺
（校下、地区）

1 開会

【村山金沢市長】

皆さん、こんにちは。本日は土曜日のお昼の時間帯に、このようにたくさんお集まりいただきましてありがとうございます。

令和4年度のまちづくりミーティングでございます。これまでコロナ禍ということで、2年間連続で開催しておりませんでしたけれども、3年ぶりの開催となります。もちろん、私が市長になって初めての開催となります。よろしくお願いいたします。

今回のテーマについては「10年後の金沢を考える」ということで、これからの都市像策定に向けての意見交換会というようにさせていただきました。

これまで各地区からのご要望をいただきながら、それへの回答という形でこのまちづくりミーティングをさせていただいたと思いますけれども、今回は全ての地区で9回に分けてブロック単位で開催させていただくという形にしております。市長になって初めてのまちづくりミーティングということで、3年置きという形ではなくて、全ての地区で開催させていただくということにさせていただきました。

本日、限られた時間でございますけれども、様々なご意見をいただいて、意見交換が建設的なものができればというように思っております。よろしくお願いいたします。

2 市長講和「親和力で奏でる金沢」

市長講和の内容については、レジュメを参考願います。

3 意見交換

【浅野町校下連合町会】

3月にご就任になって、熱き心と、そして懐の深さで10年後のいろんな話を聞かせていただきました。すばらしい市長で、本当に心強くうれしく思っています。ありがとうございます。

2点ばかり質問をさせていただきたいと思っています。

1点は、この10年後のビジョンですね。「文化」ということがところどころ出ていました。非常に「文化」というのは私も個人的には大事なところで、これからも大事にしていかなければいけないし、一市民としてそう思ってるし、市長にもやっぱり文化は大事にしてほしいなど、こう思っています。

二宮尊徳の言葉でなかったかなと思っています。「経済なき道徳は寝言である、道徳なき経済は犯罪である」。金沢というのは非常に奥の深い文化がたくさんあるんで、どうしてもその文化に目が行ってしまっただけで、経済というのは後回しになっているような気がしないわけでもないんですけども、特に市長から見て、この城北の地区を10年後どうデザインしていかなければいけないのか。この思いがあったら、城北地区に限定して少し話を聞かせていただきたいというのが第1点。

第2点の質問なんですけれども、私、浅野町校下に住んでいます。浅野町校下は、ご存じのようにオウム真理教があっただけで、統一教会があっただけで、真光さんがあっただけで、宗教があっただけで、こっちにもあっただけで、本来、金沢駅にも一番近いし、金沢の北の玄関口だから、もう少し発展してもいいような気がするわけなんですけれども、どうもこの宗教の団体があっただけでちょっと面倒くさい、いろんな諸問題があるんでないかなと思っています。しかし、我々は今、これに負けてはいけないということで、「安全安心なまちづくり」と言いますが、安全が担保されて初めて安心なまちづくりができるんでないかなと、こう思っています。オウム真理教の監視活動もやっているし、彼らにとってみると我々住民が監視活動をやっているというのは一番嫌らしい問題であって、これはずっと我慢比べであります。これはやり続けていかなければいけないなど、こう思っているわけです。

浅野町校下に今我々、公民館の建設という問題はずっと考えています。私が連合町会長を引き受ける前から市のほうと何回かやり取りがあったということを聞いています。青写真ができて、それまた壊して、また新しくつくってと、これの繰り返しを私が連合町会長をやる前だからやがて七、八年やっているような気がするわけなんですけれども、何か宗教の団体と置き換えではないんですけども、浅野町校下に、複合施設がいいのかどうかということとは別に、新しい第一歩として経済にも少し力を入れていただいて、何か前向き

に検討していただける、こんなご発言がいただければ大変ありがたいし、そこら辺の考え方を少し市長の方向として聞かせていただければ大変ありがたいと思っています。

今日は本当に貴重なご講演、ありがとうございました。

【村山金沢市長】

2つとも非常に難しい質問でした。

1つ目、城北地区に限定して経済についてどのように考えていくかというようなご質問をいただきました。城北地区については、金沢の生活の基盤であるというのは全体で言えるのかなというように思っておりまして、各地域とも住まわれている生活をどのように豊かにしていくかということが大事かというように思っています。また、商店街の振興も併せて大事だというように思っています。そういった中で、生活にご心配があるところに対しては、いち早くお支えをしなければいけないというように思いますし、地域の商店街に対しては今回の9月補正でもプレミアム商品券事業、これは4度目になりますけれども、さらにさせていただきたいというように思っています。各地域の中でお買物をしていただいて、商店街が持つコミュニティの核としての重要性を再度認識していただくというのは非常に大事なことかなというように思っております。そのほかにも恐らく長い時間をかけて考えなければいけない課題というのがあると思いますけれども、地域の経済という意味ではそういったことを考えております。先ほども実は経済産業省に行った私の同級生と話をしていたんですけれども、文化と経済が結びつくような時代がそろそろ来るんじゃないかなという話をしておりました。昔は文化では飯が食えないというように言われまして、私もある意味その道を諦めたようなところもあるんですけれども、これが何らかの形で市民生活を豊かにするとともに、経済として回らないかなということも考えたらいいなというように思っております。

もう一つであります。浅野町の方々には大変ご心配をおかけしているというように思います。私も直接お話をしたことあると思うんですけれども、オウム真理教については個人的に身近で嫌な経験をした立場ですので、新興宗教それぞれが本当に信仰であるものなら悪いとも言い切れないところもあると思うんですが、どのような活動をしてるか分からない、あるいはよくない活動をしているということが分かったところというのは、そこを厳しく見ていかなければいけないというように思っています。

一方、公民館の建設についてでありますけれども、金沢方式と言われるものについて、

これまで町会での負担が非常に大きかったんじゃないかというようなことを言われております。この金沢方式自体が全くだめだということでもなく、評価する声もいただいておりますので、現在、市役所の中で、この在り方についての検討というのを再度させていただいております。また、公民館施設を複合施設として建築するということの可能性については、この場では簡単にはお答えできませんが、担当する教育委員会などとも相談した上で、できないわけではないんだろうなと思っております。例えば、芳齋では、公民館と児童館の建築をしておりますし、そういった事例、その他にもあり得るかもしれませんので、そこはまた良い解決策が出せるように相談させていただければというように思います。よろしくお願いたします。

【千坂校下町会連合会】

ここに「10年後の金沢の未来像について」ということなんで、農業のほうで少しお願いがありまして、私、千坂校下の中で福久町に住んでおります。少し農地も持っておりますが、四、五年前から大規模農家のほうに依頼して持っておるんですけど、去年の米の値段の下落と肥料の高騰、燃料の高騰、そういうことが重なりまして、今年いっぱい農業をやめますということを聞いております。そしたら、今、福久の中では40ヘクタールほどの農地がありまして、その半分をその耕作者の方がやっております。今年いっぱいやめるということなんで、何でやと言うたら、どうしてやっても合わんと、そういうことで、農業をもう農地持つとる人もやる気もないし、大規模農家のほうももうやっていけないということなんで、それを市のほうでその農業を農地として維持していかんなんのなら、それを補助してほしい。そうでないと、これからもっともっとそういう農地が増えてきて、耕作放棄地がもうあっちにもこっちにも出てきます。

それでもどうしても農地で持っていかんなんもんなんか、都市計画で調整区域という部分を北部地区に全部設けてあるんです。ここは開発したらだめですよっていうので、調整区域として農地で残しなさいって言うてるのが市なので、その農地を維持していけるほどの補助を市でしっかり考えてほしいなと思って。何でそれ言うかということ、来年度、海幹がもう片側だけ開通しておりますね。そしたら、その中に金沢マラソンのコースがそこを通ることになるんです。そしたら、今の海幹の両脇が福久地内なもので、耕作放棄地だらけになって雑草の中を走らんなんがになりますよ。そういうところも考えて、調整区域を外せるんなら外してほしいし、それを維持していかんなんのなら市のほうで大分補助を打

たんとそういうことになってしまうと思うんで、その辺をよろしく願いいたします。

【村山金沢市長】

私の方で把握できる中でお答えさせていただきます。

燃油の高騰だけではなく、肥料の高騰については、非常に、もうこれまで肥料の価格が上がるということがなかった中で、今1.5倍、さらにはその原料となっているリンなどについては2倍以上になっているというふうに私は把握しております。ですので、この肥料の高騰がある中でその生産したものが高く売れないのであれば、なかなか厳しくなるという状況も目に見えているというように思います。これは国も認識をしていて、経済対策の中で今月中に恐らく発表されるというように聞いておりますけれども、盛り込まないわけはないんだろうなというように思っております。県、市合わせてここは補助をしていきたい、肥料高騰分について対応を打ちたいというふうに思って、今9月の補正にもそちらを上げさせていただきます。それがあつたとしても、リンが今2倍になっているということは、今後も上がる可能性があるということは、これは抜本的な話だなというように思っています、国の方に対してこれは訴えていくしかないかなと。金沢で対策を打つたとしても対応の限度があるというふうに思います。これは福久だけの話ではないというふうに思っているので、ほかの地域についても対応していくために、これは全国的な課題なので、国の方で何らかの対応をしていただかなければいけないというように思っています。

調整区域の除外等々についてはなかなか難しく、市だけの話ではなくて県との調整も必要になってきます。農地を転換していくという話になるので、非常に厳しい制限がある中ではありますけれども、またお話を伺いながら、ご相談させていただきたいというふうに思っています。

【森山校下町会連合会】

一、二点お願いしたいと思います。

先般、8月28日日曜日、防災訓練を行いました。先ほど市長さんおっしゃってましたが、市長さんにもおいでいただきました。新校舎を森山に建てていただきまして、私も今年3回目なんですけれども、前2回と比べてすごく違った動きがありました。それは、やはり避難してくるそういった動線を考えてやったということが初めて分かりました。前回に比べると非常に避難がスムーズで何らそういう混乱がなかったということで、やはりこれか

ら公共施設、特に大きな公共施設を造るときにはぜひ地域の人たちの安全避難できる、そういう動線を考えて造っていただきたいなということを当日思いました。それからあわせ、今日市長さんから10年後を見据えた市政の説明がありましたが、防災広場を森山にさらに拡張していただくということで大変感謝しております。ありがとうございます。

私、今日もう1点ぜひお願いしたいことありまして、先ほどからも説明の中に「親和力」という新しい村山市長さんのお言葉がありまして、10年後の金沢市を見据えてということで大変分かりやすかったんですけれども、その中で「地域コミュニティの活性化」という言葉がありました。これとても大事やと思うんですが、村山市長さんご存じのように、金沢には善隣館というのが、私若い頃は19ありました。今は11だと思います。森山にも1つありますけれども、善隣館は地域の福祉の拠点だったわけですね。それがだんだん減ってきている。森山も今どうしようかという、そういう言葉も出始めています。それはやはり地域だけでは守り切れないものがあるんですね。

具体例としては、デイサービスというのをやっているんです。これはまともに勝負すると本当に恥ずかしいんですが、民間の施設に勝てません。例えば森山の場合、先般、ボイラーが冬場故障しまして、業者に見てもらったら五百何十万なんですね。我々、そういう資本がありませんので、まず単独でできないわけです。市にご相談したら、「介護保険のためにやっているんだからできません」、そんな言葉じゃないんですけれども、そういうふうに担当の人は聞こえたと言うんですね。ですから、長年、戦前からずっと地域の拠点としてやってきた場所に善隣館があるわけなんですけれども、たった11じゃないかと言われるかもしれませんが、残った善隣館をぜひ今後大切にしていきたいという、これ、要望です。ぜひお願いしたいと思います。

そして、立ったついでにもう一つ、先ほどから金沢マラソンの話が出ておりますけれども、これぜひ要望ですが、昨年も開催前にはいろいろ言われました。でも、金沢市が中心になって物すごい対策を投じて、当日、金沢マラソンによって感染者出たという、そういう具体例は一つもなかったと思います。今年度もぜひ中止ということを考えないで、やるという前提でどうしたらいいかというふうに考えていただきたいと思います。これは希望です。よろしくお願いします。

【村山金沢市長】

ありがとうございます。

学校建設につきまして、先日の市民防災訓練、本当にありがとうございました。多くの市民の方々がまたその防災訓練についても班を分けて様々な体験をしていただくというような工夫をしていただきました。本当にいい防災訓練ができたのかなというように視察をさせていただいて思いました。

これからの学校建設につきましても、基本的には学校が持つ機能というのが学校の教育だけではなくて地域に開かれた学校という視点も含めて、防災の拠点ももちろんですけれども、その他の視点についても検討させていただいておりますし、また地域で活用できるそのエリアの設定なども併せてさせていただくような学校が増えているかなというように思っております。

善隣館については、金沢特有の施設だというように思っています。全国的にも珍しい、ほかの地域、私が赴任したところでは善隣館のようなところはなかったです。その善隣館の役割から今デイサービスを行っていて、それが社会的なニーズであったり、あるいは制度ができた上でこのような形になってしまっているということは認識しております。

デイサービス事業というのを今民間事業者も行っている中でということで、恐らくそのような職員の受け答えがあったのかなと思うんですけれども、善隣館自体は大事なものだということに認識をしているので、その中でどのようなことがあるか、これは担当課のほうにも意見をつないで考えてもらいたいなというように思っています。

金沢マラソンにつきましては、やる前提です。実は百万石まつりについてももともとやる前提で昨年も考えていたんですけれども、昨年はやむなく中止をしなければならないような感染状況になってしまいました。ただ、今年については、感染状況はそのとき収まっていたこともありますけれども、ワクチン接種が進んでいるということに鑑みて、前年の状況とは違いただろうというように、これは感染症対策チームの意見もいただいた上で決定をさせていただいて、百万石まつりをやりました。金沢マラソンについても感染症対策チームをしっかりと設けております。このワーキングから上のところに上がってくるまでの間にも複数にわたった検討をしておりますので、どのようにしたらやれるかということも前提にして考えております。仮に新しい脅威がある新型コロナの株が流行ってくるであるとか、ワクチンが効かない、薬の効能が生かされないものが出てくるとか、そういったことが今のところないのですが、そんなことにならない限りは行う前提だと思っております。その前提で我々も進めていきたいと思っておりますし、行わないとなったときの、これはちょっと小さい話かもしれませんが、費やした金額が非常に大きくなっていきますの

で、そのためと言っては変ですね。感染拡大させないことが一番だと思いますけれども。去年の開催ができたのは、本当に感染者数が減ったからということなんですけれども、今回は状況が違って、ワクチンを打ってるからということで開催をしやすいというように思っております。ぜひそのような環境になっていければというように思っています。

【小坂校下町会連合会】

村山市長には、3月に市長になられて5か月半余りになるわけですがけれども、今ほどのご講義を聞いていまして、非常に金沢における文化都市としての文化、芸能、美術とかそういう全ての面についても把握をされておりますし、熱意を感じられたということで、非常に私も心強く思っております。

その中で、特に私考えているのは、まちなかを車などで走っていると、震災に遭わない都市であるがゆえに道路も狭いということもあります。これを無理にこれまで少しずつ拡張もしてこられたと思うんですけれども、センターラインが曲がったり、いろいろな通行帯が非常に変な形になっております。こういった中で、以前、金沢の都市交通のお話一回どこかで聞いたことあるんですけれども、そのときに私金沢に地下鉄をという意見提起したんですけれども、地下鉄よりもやっぱり路面の電車、レールウエーを造るというような市の意見だったんです。私は、当時の電電公社、いわゆるN T Tの設備のほうにおりまして、武蔵―香林坊間とか、そういったところにミニ地下鉄を造るための地下スペース、これは北陸電力さんとそういった話し合いの中でもスペースは確保してあるはずだったので、そういうご意見も申し上げたんですけれども、なかなか実行にはならないということです。

今私何を言いたいかといいますと、ソフト面も大事なんだけれども、ハード面におきましても金沢市の交通網についてしっかり検討していただきたい。特に北部方面はなかなか開発が遅れてきていると思います。以前、前の山出市長と個人的な話だったんですけれども話をしている、北部の開発が遅れてるんじゃないかというお話をしたところ、今金沢は額とか南のほうを開発一生懸命やっとなんだ。その後、西を回って、次は北だ。北に回ってくるから必ず北の開発は出てくるということで、もう少し待てと言われて、次の市長になってお話をすると、大きなプール造ったじゃないかと、サッカー場もあるじゃないかと。そういうことで、市民生活の発展がなかなかできていない。

今、山幹ができましたし、今海幹も完成に近づいておるということで、車の通行に対し

てはこれから金沢市内便利にはなってくるんだらうと思いますけれども、これから高齢化したときに、高齢者の運転というよりも、もっと公共交通機関を発展させたほうがいいんじゃないかと思います。特に夕日寺、森本方面の山間地等々におきましては、バスを減らすような方向で検討しているやに聞いてもおります。そういったことのないように、やはり未来の金沢というのは高齢化しても便利なまちにしていきたいなというふうに思っておりますので、ぜひ長く市長にいていただいて、一つ一つしっかりとクリアしていただきたいなと思いますので、ひとつどうぞよろしくお願いいたします。

【村山金沢市長】

今、あと4人手が挙がっているので、まとめて答えさせていただきます。

【小坂校下町会連合会】

百万石行列、つまり観光の関係ですけれども、百万石行列について、利家とまつの写真撮っていけないという話がありました。それ何でかという部分もあるんでしょうけれども、来年あるいは10年後までそういう形になるのかどうかという話と。

あと、ここの写真出てるんですけれども、この灯籠流しの中に、今年、LEDが入っておりました。非常に燃えないよって分かるんですけれども、今までろうそくだったんですが、この写真は恐らくろうそくの写真なんです。これ、今年の写真ではないと思います。LEDで私実際見ると、灯籠の加賀友禅のせっかくいい絵がぼやけてはっきり見えませんでした。ということがあるんで、これまた来年もそういう形にされるのかということになると、何で去年というか、何年前まではいいのになっていたのに、今年からこうなったんやと。それは市長替わったからかなということで話がこの界限でやっておりました。

それともう一つ、玉川図書館、前駐車場ありますが、あれ有料化になっておまして、有料化分かるんですけれども、30分で100円取られるので、30分はすぐ来るんで、少し何とか検討していただいて、せめて1時間以内は無料という形にしていればいかなと思います。

【千坂校下町会連合会】

今市長さんが言われてました金沢市は技術工芸がすごく発展しているということで、これは北陸整備局の方々来られても全くそのとおりであると。ほかの市町村等、新潟、富山

と比べても全く違うんだ。それだけの財産があつて、さらにまた活用していただきたいなというのが1点と。

もう一つ、先ほど人口減少という話がありました。人口減少の中で金沢市がどのような対策を取っているのか。今若い人たちが住もうとしたら、子どもを育てやすい場所、例えば川北とかどこかへ行きたいよねという話がございます。その辺、金沢市の特色として他とこんなところが違うんだ、こういうところを努力して定住人口を増やさなければ絶対発展していかないんで、その辺の話をちょっとお聞かせ願いたいというのが1点。

先ほどの農業ができなくなったという話。これはもう福久町会の本当半分以上がそういう形になるんです。これは今から農政局に言っていくというような話ではないと。本当に喫緊の課題なんです。これは恐らく福久町会だけでなく、森本の地区もそうでしょう。その辺についてまたご指導、ご相談のほうをひとつよろしくお願いをしたいと重ねて申し上げたいと思います。

もう一つ、公民館事務のことについて少しお話しさせていただきます。町会連合会の業務は皆さんご存じのように、市をはじめ関係機関や各種団体との連絡、報告、調査依頼、委員の人選、住民への周知に加えて、自主防災会、町会連絡会、あとコミュニティに関する独自業務など多種多様にわたっております。その業務は公民館事務員がやっていますが。一方、金沢市では生涯学習課になるんだろうと思いますが、公民館事務員は公民館事業をやっていけばいいんやという話を指導しているというような話がありますが、本当にそういうことなのか。そういうことを言っているとすれば、全く現場と町民の感覚と反対です。そういうことも含めて、今後制度の在り方も含めて、ぜひ検討をお願いしたいなと。そうでないと、今言うまちづくりの基礎が壊れていきますよ。今言われた、ここにおられる町会連合会、私はまだ新米なんで分かりませんが、公民館と町会連合会が手を合わせて、まちの軸となっていけないかん。かといいいながら、そういうことが一因でございすぎしている町会連合会が少なからずあると聞いておりますので、ぜひこの辺についても制度の見直しを含めて少し検討願いたいなと。よろしくお願いたします。

【夕日寺校下町会連合会】

市長の今ほどのご講演の中で、冒頭に人口減少のお話ございました。人口減少が進むと最も先に影響が出てくるのは、都市部よりは郊外のほう、あるいは中山間地のところかというふうに想像します。現実、我々のところもその影響が出ておまして、先ほどもお話

がありましたけれども、JRバスの路線の廃止あるいは便数の見直しというのが行われました。これからますます高齢者が増えて免許の返納ということが進むとすれば、公共交通の在り方というのは今後ますます大きな課題になってくると考えております。幸い、この7月から夕日寺と森本地区では「チョイソコかなざわ」という仕組みが試験運行されて、その活用を今しているところです。ただ、まだ始まったばかりでその利用者数がそんなに伸びていないというデータも私はそういうふう聞いております。

これは長い目で見ていただいて、我々のほうもそれを利用する、促す、そういったことは進めていきたいと思っておりますけれども、金沢市さんのほうでも長い目で見ていただいて、支援のほうをお願いしたいと思います。ますますこれの利用価値を進めようとするれば、利便性を高めようとするれば、便数を増やしたり、あるいは曜日を増やしたり、時間を延ばしたりという様々な提案が必要かと思うんですが、そうなるとうちでも運行事業体への負担が大きく、あるいはそれが利用者の負担が大きくなってくると。地元負担も大きくなると思うんです。そういったところには金沢市さんの支援をまたお願いしたいということ。そもそもですけれども、この集約都市形成計画の中で路線バスの重点路線の見直しというものが指定されていて、それ以外のところはなるべくその路線のところに、もちろん任意ですけれども、そこに集約できるようにという促しがありましたけれども、そうはいってもまだまだ我々のところはそこに生活をしているわけでございます。路線バス、交通の今後の政策についてももう一度ご検討いただいて、今後の方向性をまたお聞かせいただきたいなと思っております。

それと、同じようにポストコロナの時代で、先ほどお話ありました多拠点生活あるいは地方への移住が進むだろうということで市長のお話がありました。一方で、人口減少の中にあれば空き家が増えてまいります。その空き家とこういった多拠点生活あるいは移住というものをどういうふうに結びつけばいいのか。要は空き家対策について金沢市さんとすれば今後どういうふうにお考えなのか、そういったお話をお聞かせいただきたいところと。

もう一つは、自然を取り巻く環境について関心が高まっているということでございました。我々の地域のところで太陽光発電の業者が開発を進めて計画をしているということがございまして、これはかねてから金沢市さんの協力もいただいて、その規制のほうをしっかりと進めたいというお言葉もいただいております。この太陽光発電開発に係る今後の規制の見直しというものは今の段階でどういうふうに進んでいるのかなというふうに思いま

す。

夕日寺のほうでは、東長江で崖崩れがございました。その対応については工事業者も決まってこれから進めるということをお聞きしております。手厚いといいますか、しっかりと対応していただいておりますことに感謝を申し上げます。その点についてもう1点なんですけれども、以前、市内全域の盛土調査が行われて、このエリアは盛土だよというようなマップが公表されたかと思っているんですけれども、あの盛土調査結果というのはその後どういうふうな活用がなされていて、今後どういうふうな我々の生活の中に組み込まれていくのかということをお聞きしたいなと思います。よろしくをお願いします。

【馬場校下町会連合会】

人口の話がよく出てきてるんですが、私、これを見ますと、この10年後にはまちの中がドーナツ化現象が起きると思います。地方によっては人口が増えて、小学校を増設しなきゃならないというような現象も現在起きておりますので、この辺のところを行政としてまちの中をどういうふうに活性化させて人口を増やしていくのかというような、そういう考え方があってもいいんじゃないかなと思います。

そうすることによって、まちの中で学校の統廃合が起きたりしていきますけれども、このまま行きますと、また統廃合された学校がまたどこかに統合しなきゃならんようになっていくような傾向に見られるので、先ほどからお話があった関連質問として、その辺のところも市としてどう見られるかなということをお願いしたいと思います。

【村山金沢市長】

すいません。人口減少等々の話があるので、一回ちょっと認識を共有したいなと思っております。このスライド（レジュメ6P）なんですけれども、人口ピラミッド。高齢出産等もあるのでなかなか難しいかもしれませんが、ざっくりと言わせてください。今、子どもを産む、20代から30代までの女性の数がここ（2020年の20代、30代）ですね。ここに比べて、その下のここ（2020年の0代、10代）がかなり減ってきているのが分かりますかね。そうすると、これから20年後、この方々がそのままこっち（2040年の20代、30代）に来るので、子供を産み育てる世代というのはそのまま減ってきてしまうということになります。合計特殊出生率が1.47という話をしましたけれども、もともと

そもそも人口自体が減っているんです。年少人口が減っているというのは何かというと、今後、生産年齢人口になる方も減っているということなんです。ですので、人口減少どうにかならないかというところの疑問点というのは、なかなか難しい。これは合計特殊出生率を3に上げるとか、そのようなことをしないと本当に難しいということになります。これをまず前提として考えてください。

その上で人口を増やすためにはどうしたらいいかという話になると、他の地域から来ていただくしかないということになっていくんですが、これがどのように考えるかということです。金沢は能登から来てもらえばいいのかとかいうことだと、そうではないと思います。他の県から来てもらえばいいかという、他の県も減っていくわけですから、それは取り合いになっていくというのが前提としてあります。

一方、そこまでの人口減少は避けられないんだけど、それを抗って、できるだけその減っていくのをなくしていくためにはどうしたらいいかということは考えられるというように思います。

人口減少の関係のご質問を幾つかいただきましたが、子育てしやすい環境をつくるというのは一つの大きなものだというように思います。これは他の都市から来てもらうという形になるしかないんですけれども、さらにはその人たちが合計特殊出生率を1.47からどんどん上げていくというために子育てをしやすい環境をつくるということも必要だというように思っています。その子育てをしやすい環境として、様々な補助制度があります。これがやっていくと同じようなチキンレースになっていくというように私は思っていて、金沢だから子育てをしたいんだということの一つの内容として、先ほど未就学児であったり子どもたちに対しての教育であったりというところ、そこに力を入れたいなというように思っています。そのほかの支援をどのようにしていくかというのはまた違う次元の話として検討しなければいけないかなというように思っています。

幾つか質問いただきました。

すいません。山出さんが南を今やっているんだから、次は西で、次は北という話初めて聞きましたけれども、よくそんなことを言えたなと今すごい不思議な、さすがなのかどうか分かりませんが、それぞれの地域でどこの開発を重点的にということはないかなとも思っています。

ただ、高齢者に向けた公共交通を重視するという視点でということ、これはもちろんそのようにしていかなければいけないというように思います。今、JR西日本さんもそうで

すし、北陸鉄道さんもバス、鉄道それぞれ厳しい状況になっています。コロナ禍になって利用者が減ってしまった。打撃を受けた中で路線の廃止を検討することになってしまったということだというように思いますが、これまで維持していただけたことにはありがたいなと思いつつも、これをどうにかしなければいけない課題を持っております。現在、第3次の金沢交通戦略を策定する段階にありますので、その中で検討していきたいというように思っております。

ミニ地下鉄もスペースがあったかどうかというのは、実際にそこへ行ったことがないので分からないんですけども、行った人によると途中で途切れているということも言われていて、途切れているのが何かというと、ほかの管との影響でそこを途中で途切れさせなければいけなかったみたいなことも聞いたことがあります。また、それはミニ地下鉄まで本当に通れるかということ、そこまで大きくないということも聞いたりもしましたので、ちょっと活用は今のところ難しいかなというような状況のようです。

あと百万石行列のお話を伺いました。利家とまつの写真については、今回は写真撮影を遠慮していただくということになりましたけれども、次回以降、市民の方に楽しんでいただける祭りとしてどのようにしていくかというのは抜本的に考えなければいけないというように思っています。ただいま経済局のほうで、あるいは金沢商工会議所とも相談をして、そのルールづくりをしているところであります。

先ほどの灯籠流しの写真は確認していませんでしたけれども、恐らく今年の写真じゃないです。今年は川の流れがよくなって、灯籠が停滞しましてあまり流れなかったということです。これも4年前の祭りのときに火災が起きたということがあって、本当の火ではなくて今回はLEDにして作り直しましょうということでやりました。今後どうするかはまた検証になりますけれども、今回は実は70回の前回の百万石まつりができなくて、70回の記念大会としてその灯籠流しをしたかったのを71回の今回に繰り越したというのがあります。ですので、毎年やるかどうかということも実は決まっておられません。ただ、これまで加賀友禅保存会さんの主催行事でやっていたというのを、お声も強く、また記念大会でもあるということで今回復活させていただいたという経緯になりますので、今後また百万石まつりの実行委員会のほうで開催の有無も含めて検討することになると思います。

玉川図書館の駐車場の料金については、近隣の民間のコインパーキング等々の関係もあって価格を決めさせていただいたことになります。また、利用者の声も伺いながら価格の設定については引き続き検討することになると思います。

公民館事務のお話をいただきました。これは持ち帰らせていただき、生涯学習課に確認をしたいと思います。公民館と町会連合会が何かで対立するみたいなところはできるだけなくしていきたいという思いは一緒ですので、そのような視点で話をつないでいきたいというふうに思います。

あと、私よりも詳細に答えられる担当局長がいますので、局長から答えさせていただいた上で、その後、また私からフォローさせていただきます。

【坂本土木局長】

土木局長、坂本でございます。日頃から金沢市道路行政にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。

今ほどのご質問で、大規模盛土造成マップ、これ平成29年に作成したものでございます。これでおおむね50弱がピックアップされとるわけなんですけど、今年度、こういった団地の今まで積み上げてきたデータ、例えば何年に作られた、土質がどうであるとか、そういったものを整理いたしまして国に報告しなければいけないというふうな二次スクリーニングという作業に入っております。

それで、現地も一応目視観測しまして国のほうに提出するわけでございますが、その中で実際に応急対策が必要であるとかないとかという話がまた出てくると思うんです。そういったものが出てきたときには、あくまでもこれは公共の盛土箇所なら我々の責任でということになりますけど、民間造成地の盛土も多くございます。そういった中で、現在住んでいる方もおいでということもありまして、その辺の結果についてはまた出来次第、町会の皆様、連長さん含めご相談していきたいなというふうに思っていることでございます。

このマップにも書いてありますが、くれぐれもあくまでもそういう地形であるとか、そういう谷地形を埋めたものという中で作っているものであって、これが必ずしも危険だよという場所ではないんで、一つの目安、ハザードマップも一緒なんですけど、そういった形でご理解いただければなと思っておる次第であります。

【新保都市政策局長】

都市政策局長の新保と申します。私のほうからは、交通関係について少し補足をさせていただきます。

まず、まちなかのバスの関係、地下鉄の話から、ハード整備が必要ではないかというこ

とのご質問ですけれども、今現在、新しい交通システム検討委員会というものを分科会になりますけれども動いております、例えばLRT、それからBRTというものをまちなかで導入していくという議論が進められております。ただ、最終的に、前回最終の委員会が開かれたんですけど、その中では、まずはそういうLRT、BRTという二者択一ではなくて、まずは今般のコロナ禍で交通事業者が大変疲弊をしております、まずそういうところの環境整備からやっていくべきではないかという議論になっておまして、またそのLRT、BRTということを決める段階ではないというような方向性の議論が今進められているということでございます。

それから、人口減少に関連しまして、この地域もそうですけど、最終的に人口が減少した場合の公共交通をどういうふうにして維持していくか、これは大変大きい課題でございます。まちなかについても郊外部についても、人口減少というのは同様の課題を抱えております。特にまちなかも人口減少進んでおりますし、郊外部も人口減少しているという先ほどの市長の説明もありました。

その中で、まちなかが例えばふらっとバスでありますとか、基幹交通のそういう路線がありますので、公共交通はある程度機能はしていくんですけど、郊外部につきましては、今のところ、地域運営交通という中で地元が中心となって、バス、それか大型のタクシーのようなもの、そういうものの運営をしていただいているというのが基本でございます。

その中で、夕日寺の先ほどの「チョイソコ」という新しいシステムを導入させていただきました。今使われる方はあまり多くないというお話ありましたが、登録者数がある程度増えてきておまして、それがもう少し使いやすくなればもっと利便性が高くなって使われる方が多くなっていくんでないかということがありまして、もう少し動向を見ていきたいというふうに思っておりますので、今後ともよろしくお願ひしたいと思っております。

【村山金沢市長】

もう1点、太陽光発電の規制についてのご質問がありました。こちらについては、何らかの規制ができないかということで今担当の環境局のほうで検討しております。いずれその規制の方法を条例まで必要なかどうかというところまで考えた上で対策を練ってまいりますと考えております。

4 市長まとめ

【村山金沢市長】

今日は限られた時間ではございましたけれども、意見交換させていただきまして本当にありがとうございました。

まだまだ言い足りないところがあるというところでもありますし、時間が限られてしまいました。ぜひお聞かせいただきながら、また今日答えられなかった件につきましても併せてお答えさせていただきたいというふうに思います。

これから様々な機会でもまた都市像に向けての検討の場を設けさせていただきますので、今後ともお力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

ありがとうございました。